

## 令和4年度福島県農業総合センター農業短期大学校学校関係者評価

## 学校関係者評価委員の評価

評価項目		評価（○印をご記入ください）			
		A	B	C	D
1	自己評価の実施方法は適切か （重点目標、評価項目の設定は適切か）	適切である	ほぼ適切である	やや不適切である	不適切である
	○				
【改善に向けた助言】 今後も継続的に実施して欲しい。適切な重点目標、評価目標が設定され、計画的に自己評価が実施されていると感じた。					
2	取組は適切か （重点目標を受け、具体的な方策 方策は適切か）	適切である	ほぼ適切である	やや不適切である	不適切である
	○				
【改善に向けた助言】 農業と農業関連の担い手を育成するために、多岐にわたって取組がなされていることは評価できる。就農者の増加に向けた取組を今後も要望する。オープンキャンパスの参加人数の確保については、コロナの影響と考えられるが、参加者の確保に加え同等の効果が得られるような情報提供方法を工夫して欲しい。					
3	自己評価は適切か （自己評価の結果は適切か）	適切である	ほぼ適切である	やや不適切である	不適切である
	○				
【改善に向けた助言】 目標に向けての達成状況が、数値も含めてより具体的に示されており、客観的で適切な自己評価がなされている。アンケート結果をどのように反映させているのか説明して欲しい。					
4	改善策は適切か	適切である	ほぼ適切である	やや不適切である	不適切である
	○				
【改善に向けた助言】 農場の施設設備が充実していることと、学生寮を新しくする計画に注目している。今後は本館教室やICT環境の整備、更に講義内容の充実と指導力向上を図ることで、学校の魅力が増し、学生数の増加につながると思う。時代の情勢に応じた策を実施して欲しい。学校情報の発信は、必要な情報が届けられるようSNSの活用など工夫が必要である。					

#### 【その他の意見】

- ・高校訪問を精力的に取り組まれたことは受験者確保に有効であり高く評価できる。
- ・留学生受入にも前向きであり、本校学生にとっても有益と考えられ評価できる。
- ・産品を都内で積極的に販売することで、社会還元、貢献の取組も評価できる。
- ・研修部においても研修者の積極的受入、研修実施など評価できる。
- ・定員の確保にオープンキャンパスの効果を大切にしてほしい。
- ・今後の施設設備等による「新たな農短大」となるよう期待しています。
- ・就農者の増加に伴い「農業経営」に関する知識・応用についても習得できるよう、実践的指導をお願いする。
- ・水田経営学科が取り組んだ経営シミュレーションの学習やJGAP指導員資格取得の取組は高く評価できる。
- ・農短大の良さを学生目線で情報発信できると良いと思う。一方で簿記や毒劇物資格の合格率を高めるなど指導力の向上にも期待したい。
- ・進路については農業及び関連業界への就職率が高く、農業専門の学校として貢献できている。更に進んだ学習を目指せるよう福島大学への編入の道も拓いてほしい。
- ・農業高校にとって農業短期大学校は農業後継者と農業関連人材を育成するためにとっても重要な進路だと考えている。農業高校には非農家出身であっても農業に興味を持ち、関連の就職を希望する学生が増えていることから、農業法人等への進路に大きく期待している。
- ・寮生活において人間的に成長し、生涯の仲間を見つけることができるのではないかと思い、その魅力を学生のみなさんに理解してほしい。
- ・2年間は短いため、毒劇や簿記などの難関資格の取得、また目標の高い進路実現のために、入校直後の早い時期から目標を持ち、自らが学ぶ姿勢を育てることが大切である。